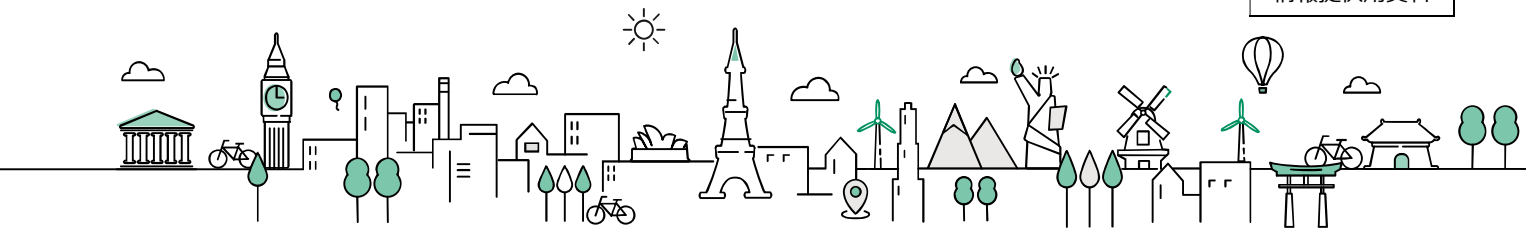
情報提供用資料



2021 年「世界水の日」―水の価値を評価する

2021 年「世界水の日」のテーマは、水の価値を評価することです。水の価値はその価格をはるかに上回っています。水は私たちの家計や食品、文化、健康、教育、経済、そして自然環境の完全性にとって非常に大きく、かつ複雑な価値を持っています。

水は十分に評価されていますか？それは、経済的観点からではなく、食料安全保障、人間の健康、都市と農村の集落、エネルギー生産、産業開発、経済成長、および生態系にとって重要です。すべて水に依存しているのです。

水管理による気候変動への適応と緩和は持続可能な開発に不可欠であり、持続可能な開発のための 2030 アジェンダとパリ協定の目標を達成するために不可欠なものです。

国連の持続可能な開発目標（SDGs）のうち、6 番目の目標は、2030 年までに「安全な水とトイレを世界中に」確保することです。国連の「世界水開発報告書 2020 年版」では、2030 年までの水の提供というアジェンダが十分に理解されていないという事実を強調する一方、他の SDGs のアジェンダを達成するためにも不可欠な要素でもあると指摘しています。

発展途上国で水インフラを開発する必要性は理解されていますが、多くの水の危機が起こっているように、先進国にとってもクリーンな水へのアクセスは問題となっています。

かつてない規模で広がる投資ユニバース

BNP パリバ・アセットマネジメントは、10 年以上にわたり水に絞った運用戦略を運用しています。近年、私たちは投資可能な企業のユニバースが増加し、多くの水セクター企業において成長が加速するのを目の当たりにしています。

気候変動、汚染、増加を続ける都市人口といったあらゆる要因が水需要を喚起しており、イノベーションとテクノロジーがこれを満たすサポート役となることが期待されています。政府、公共機関、民間企業はいずれもインフラに対して新規投資あるいは更新投資を行っており、その投資モメンタムは勢いを増し続けています。

水へのアクセスと優先順位の変更

中国、インド、サブサハラ・アフリカのような新興市場地域では、これまで成し遂げられなかった「誰も取り残さない」水インフラの整備が求められています。
これは都市化や人口増加、生活水準の質を求める消費行動の変化によってもたらされた、少なからずポジティブな発展と言えるでしょう。

求められているのは、クリーンな水や水処理へのアクセスだけではありません。都市住民は当然と思っているようですが、生産のためにも相当な量の水が必要とされています。

インフラの老朽化

先進国のインフラの大部分は、老朽化して非効率なうえ、現代の水需要に対応するのが困難になってきています。これは多くの自治体において、経費削減によって水処理や衛生面の問題につながった水危機の代表的な事例と言えます。リードパイプの代替プロジェクトの多くで、引き続き非常に高いコストでプロジェクトが進んでいます。
気候変動は水の安全保障に影響を及ぼしています。ここ数年、深刻な干ばつと水不足によって、2012-16 年のカリフォルニア州や 2014-17 年のブラジルの干ばつのように、農作物の収穫や産業の生産性に影響を与え、労働者の所得が失われました。

最近では、人口約 400 万人の南アフリカ第 2 位の都市ケープタウンが、水危機に見舞われました。過去の降雨量を大きく下回ったため、2018 年 3 月には同国の主要な貯水池はほぼゼロに近い水準に落ち込みました。ケープタウン住民の水使用量は、2015 年に 1 日あたり 120 リットル前後であったものが、2018 年の初めに 50 リットルに削減されました。

こうした地域の政治家や住民にとって、気候変動の長期的な影響には、水の保全や漏出の検出など対策への投資が不可欠です。嵐などの他の異常気象は、もう一つの優先事項です。水の保護と浄化がより差し迫ったものになる可能性があります。

多くの投資機会

水への投資機会は驚くほど多様性があり、弾力性のあるものとなっています。リスク特性は一般的な株式市場と同等と考えられます。投資機会は世界経済全体を通じて、市場、セクター、地域にまたがります。水への投資は、ディフェンシブセクターと景気循環セクターの両方を含む魅力的な投資機会を提供しています。

水の消費量を削減するためには、テクノロジーとイノベーションが重要な役割を果たします。例えば、スマートメーターは、公益企業がサポートするインフラをより効率的に管理し、初期の警告や水漏れの場所を提供することに役立ちます。公共機関や民間企業が世界中でインフラの高度化に投資しており、この投資の勢いは今後も続くと思われます。

水政策の推進

投資家は、持続可能な戦略、あるいは変化をもたらす戦略に投資資金をアロケーションすることによって、魅力的な財務的リターンを獲得すると同時に、環境・社会にプラスの貢献をすることも可能となります。

当レポートは、BNP パリバ・アセットマネジメントの公式ブログ「INVESTORS' corner」に掲載された 2021 年 3 月 19 日付のコラム"World Water Day 2021 – Valuing water" を和訳したものです。

ご留意事項

- 本資料は BNP Paribas Asset Management France が作成した情報提供用資料を、BNP パリバ・アセットマネジメント株式会社が翻訳したもので、特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- BNP パリバ・アセットマネジメント株式会社は、翻訳には正確性を期していますが、必ずしもその完全性を担保するものではありません。万一、原文と和訳との間に齟齬がある場合には、英語の原文が優先することをご了承下さい。
- 本資料における統計等は、信頼できると思われる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- 本資料中の過去の実績に関する数値、図表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を示唆または保証するものではありません。
- 本資料で使用している商標等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該商標等の権利者に帰属します。
- BNP パリバ・アセットマネジメント株式会社は、記載された情報の正確性及び完全性について、明示的であるか黙示的であるかを問わず、なんらの表明又は保証を行うものではなく、また、一切の責任を負いません。なお、事前の承諾なく掲載した見解、予想、資料等を複製、転用等することはお断りいたします。

BNP パリバ・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者: 関東財務局長（金商）第 378 号
加入協会: 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会